

パーマカルチャーとは!?

パーマカルチャーとは、オーストラリアのビル・モリソンとデビット・ホルムグレンが構築した人間にとっての恒久的持続可能な環境を作り出すためのデザイン体系のことです。この言葉は、パーマ(永久)とアグリカルチャー(農業)あるいはカルチャー(文化)を組み合わせた造語です。人類が永久に存在し続けるために、農業や化学肥料などで土を痛めることなく、自然の恩恵を最大限に受けることに注力していく時代となりつつあります。パーマカルチャーは、伝統的な農業の知恵を学び、現代の科学的・技術的な知識を組み合わせて、高い生産性を持った生態系を作り出すとともに、人間の精神や、社会構造をも包括した『永続する文化』をかたちづくる手法です。

パーマカルチャーの倫理

「地球に対する配慮」
地球上のすべての生物・無生物に対して、無害かつ再生可能な行動をとるよう心がける。

「人々に対する配慮」
人の基本的な欲求である衣食住、教育・雇用を満たし、良好な人間関係を保つことで、地球への過剰な負荷を避ける。

「余剰物の分配」
他の人々がパーマカルチャーの倫理を実践するのを助けるために、自分の余った時間と金とエネルギーを使う。

「競争」ではなく「協力」する生き方がパーマカルチャー流

Welcome to Peace Permaculture Garden

シャンティクティを舞台にした安曇野パーマカルチャー塾の取り組みをご紹介します。



ルーフトップガーデン

薪のシステムキッチン アースオープン
水道・流し・かまど・アースオープン・薫製器・温水器・蒸し器・ダッチオープン・木酢液採取・雨水利用・ルーフトップガーデン等、多目的な薪のシステムキッチンです。建物の材料はこの土地に生えていたカラマツを使いました。ウッドマイレージゼロ。温水も廃熱で作っています。焚き口が2個あるかまど、お湯を沸かしたり羽釜でご飯を炊いたりできます。釜戸の煙はアースオープンにつながっています。アースオープンの煙突の上に薫製器が乗っています。アースオープンではパンやピザを焼いて美味しいいただきます。年に数回、かまどの会を開いて、地域との繋がりを生み出しています。

キーホールガーデン

キーホールガーデン
鍵穴のような形になっています。ロックスパイラルガーデンに足を踏み込まなくても手入れが可能です。手が届くように鍵穴を作っているのです。この鍵穴には落ち葉などが堆積し、堆肥もできます。接縁効果が生み出され、多様性のモデルです。接縁が多くなればなるほど、生産性は高まります。

ルーフトップガーデン

ルーフトップガーデン
薪のシステムキッチンの屋根の上が畑になっています。建物を建てた分、大地の緑は減りますが、屋上を緑にすれば緑地は減りません。イチゴが植えられています。

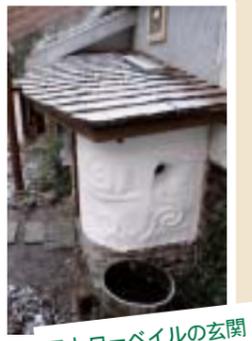
キーホールガーデン

ロックスパイラルガーデン
土を積んで3次元空間を作ります。すると、低い・高い・ひなた・ひかげ・乾燥・湿潤のように、環境に多様な変化ができて、微気象が生まれます。そこに適した植物や草が生えます。多様性のモデルです。

ルーフトップ畑



ストローベール
藁を押し固めたブロックと、泥、木枠などで作る建築物。(曲線の壁を作れることが大きな特徴) ストローベール製の玄関口を作りました。かたつむりの模様がぐるぐる循環暮らしを表しています。



ストローベールの玄関

非電化冷蔵庫
古畳を利用した非電化冷蔵庫です。夜中の放射冷却を利用して、水を入れたペットボトルに蓄冷します。野菜や食材の保存庫として使っています。



非電化冷蔵庫・生かさう庫



ピースフード
畑でとれた新鮮野菜・自作のオープンやかまど、薪燃料。ファーストフードに対するスローフードを乗り越えたいという思いで、マクロビオティックを基本としたこの料理をピースフードと呼んでいます。

ワクワクガーデン夢ハウス
温室と土間、ロフトがあるガーデンハウス。木材は敷地に生えていたカラマツを使用。ガラス屋さんでペアーガラス載せて窓に。ロケットストーブで暖房・調理・温室の加温も可能。煙突に熱交換機をつけて車のラジエーターを放熱器として利用・パッシブソーラーの温室地下に砂利層を作り熱を蓄熱&放熱・太陽温水器で温水を作りシャワー。多様性をもった庭の住空間です。災害時のサブ的な住居にもなります。



ワクワクガーデン夢ハウス



ソーラー発電

コンポストトイレ
このバイオトイレは尿尿や野菜くずなどを堆肥化して循環が可能。便器横に攪拌用の手動ノブがあり、用を足したら、そのノブを回し、下部の尿尿や野菜くずを攪拌するシステムです。風力発電とソーラーによる持続可能な電源で夜の灯りをともし、天窓がついているので、昼は灯りは必要ありません。



風力発電



バイオコンポストトイレ



廃油の利用
天ぷらなどで出た廃油を春・夏はてんぷら油(WVO・SVO)車に、冬は自然吸気型廃油ストーブに利用しています。廃油ストーブは、燃焼筒に3ミリの穴が螺旋状に空いています。廃天ぷら油を焚き口から入れて少し石油をウエスにしみこませて火をつけます。



廃油ストーブ

SVO・WVO車
straight vegetable oil 新品の植物油ストレートベジタブルオイル車・waste vegetable oil 廃油ウエイストベジタブルオイル。菜の花を育て、その油で料理をし、その廃油でクルマを走らせ、出たCO2を菜の花が吸収という循環型のプロジェクト。富の集中による貧富格差や戦争などを引き起こす要因ともなる化石燃料問題。次世代の新しい方向へのエネルギーシフトです。



SVO・WVO車



ロケットストーブ
ロケットのようにゴーという音とともに燃えるので名前が付いたとか? 少しの薪で最大の効率を考えたストーブです。ストーブ内の燃焼筒を保温することによって燃焼効率を上げます。室内の暖房や調理・温室の熱源として、利用されます。



自然農の畑
外から持ち込まない(追肥しない、そこにある草で土を肥やす)持ち出さない・草や虫や鳥を敵としない。鎌一本でできる自然農法。年々豊かになっていく畑からは新鮮な野菜がたくさん収穫でき、ピースフードを鮮やかに彩ります。



自然農の畑



薪ストーブ・初穀ボイラー
暖房の燃料は薪と初穀を使います。初穀は安曇野ではいくらでも手に入る産業廃棄物です。初穀ボイラーで燃料費ゼロ。化石燃料ではない、バイオマスエネルギーはカーボンニュートラル、CO2がでないこれからの給湯暖房システムです。



初穀ボイラー

水は井戸水、沢の水、雨水を利用。日本蜜蜂 飼育中。かわいいうちにハチミツも採れます!

ティビガーデン



ティビガーデン
ビッグサイズのティビはヘチマや朝顔・キュウリ・ひょうたん・ゴーヤを生やします。小さいものには花豆を生やします。

温床育苗

温床育苗
トイレの南側に踏み温床スペースがついており、発酵熱で育苗ができるようになっています。多重性・食の循環のモデルとなるバイオコンポストトイレです。